

<新製品>

無人で航空機部品の厚みを自動測定しデータを記録
超音波タッチプローブ「RTP20.50-UTP-WET」湿式タイプ
2020年10月2日(金)に国内販売を開始

世界各地から主に工業・産業用機械部品や各種ツール・ソフトウェアを輸入販売する株式会社キャプテンインダストリーズ(東京本社：東京都江戸川区、代表取締役社長：山下 宏)は、航空機部品の厚みを、無人で計測し、測定座標位置も自動記録する超音波タッチプローブ「RTP20.50-UTP-WET」を2020年10月2日(金)に国内販売を開始いたします。本品は工作機械で使用するクーラントを接触媒質とした湿式のため幅広い加工仕様に対応できます。

●超音波タッチプローブ RTP20.50-UTP-WET
<https://www.capind.co.jp/product/detail.php?id=216>



超音波タッチプローブ RTP20.50-UTP-WET イメージ

航空機部品は加工後の厚み管理が重要な工程ですが、現状は人がハンディタイプ測定機を使い測定しています。超音波タッチプローブ「RTP20.50-UTP-WET」は機上で自動厚み計測を実現しました。

■測定動画

<https://youtu.be/1fBCP3twenA>

■特長

- 1.厚みを自動計測できる (0.7mm～9mm, 1.5mm～30mm)
- 2.厚み測定座標位置も計測できる
- 3.レポートを自動化できる
- 4.クーラント使用機で測定できる
- 5.ワーク計測用タッチプローブと併用できる
- 6.ワーク温度測定プローブと併用できる

■システムバリエーション、精度(実力値)、測定例、仕様は以下 URL でご確認いただけます。

<https://www.capind.co.jp/product/detail.php?id=216>

【出荷開始】 2020年10月2日(金)
【販売目標】 初年度50システム
【販売価格】 非公開